

平成27年7月15日 現職教育（タブレット活用講習）

タブレット活用に向けて整備が必要と思われる環境面【ハード面】 ・教室できちんと使えるネットワーク環境 ・予備のタブレット ・ルール作り ・授業のどこで使うと効果的か？ ・教室へのテレビの常備設置 ・テレビ、プロジェクターを増やす。	本校の教育活動においてタブレットの活用ができそうな場面【ソフト面】 ・総合学習発表会の取材時および取材活動の映像を記録して見せる。 ・理科の実験・観察 ・実技の授業（跳び箱、マット運動、走るフォーム） ・ゲーム的な問題には適している。 ・算数の図形やいろいろな解き方を発表する場面 ・作文を書いて発表する場面 ・写真やビデオを撮って見せる場面。 ・学級活動、話し合い活動 ・国語の読み取り ・社会の地図やグラフの読み取り
タブレット活用に向けて課題と思われること【システム課題】 ・タブレットの故障 ・通信の不具合 ・基本的な操作方法の習得 ・遊ばないように、操作制限ができる設定 ・教師が子どもより、タブレットの方に目がいてしまい、児童観察ができなくなる。 ・二人で1台が望ましい。角度によっては見づらい。 ・子どもが全員活用できるかは未知。 ・子どもは書くときに筆を浮かせて書くことができないので、手圧がかかる。そこに線がついてしまうのが残念。 ・文字を書くことは適していない。（正しく文字を書くことからかけ離れている）	タブレット活用に向けて児童への指導が必要と思われること【人的課題】 ・モラルやマナー ・インターネットにつながってしまうので、正しい情報モラル ・タブレットに気がいってしまい、話し手の方向を見ずに発表する危険性がある。 ・話し合う、聞き合う活動が希薄になりがち。 ・正しい字を身につけることが出来なくなる心配。 ・遊びへ移行しないか。壊す、落とす等の心配。 ・先生の操作への理解がないと子どもに説明できない。 ・台数が少ないと、使用をめぐってトラブルが発生しやすい。 ・子供たちに分かる言葉（アクティブスクール？）

○本日の現職教育についての感想・意見

- ・子機と親機の関係があるシステム
- ・偏りすぎない。授業の中で適切に組み込んでいけば、大変効果があると思った。
- ・子どもが興味をもちそうに活用したくなった。
- ・新しい教育の手段。課題はたくさんあるけれど、見直し、見直しを重ね、今後は実用化は間違いない。
- ・今日は、実際にタブレットを触らせていただき、良さや改善点がたくさん見えてきた。
- ・普段スマホに慣れている人は、すぐ使うことができると思った。どんな場面で使えるか考えていくことが必要。

